

人と魚と海のネットワーク
香川県漁連ホームページ
http://seaclub.power.co.jp/
E-mail:gyoren@power.co.jp



JF 高松市北浜町 8 - 25
TEL 087-825-0350
FAX 087-851-0699
J F 香川漁連

青壮年女性漁業者活動実績発表大会

県知事賞

サワラ資源の回復に向けて - 大漁旗を再び 女木さわら流せ組合 浜崎克彦氏受賞

漁村における漁業者の日頃の活動実績を発表し合う「青壮年女性漁業者活動実績発表大会」が、9月27日に香川県漁連会館において開催され、漁業関係者約70人が参加した。大会は、青壮年や女性漁業従事者の活動意欲の向上を図るとともに、本県水産業の振興に役立てようと1959年から毎年開催されているものである。本年度は、県内漁協や水産会社から次の4組が出場し、漁業振興や漁村活性化への取り組みを発表した。

活動実績発表演題

- (1) 新魚種開発 - マハタの種苗生産 -
吉川水産 吉川龍仁氏・松葉鉄也氏
- (2) サワラ資源の回復に向けて
- 大漁旗を再び -
女木さわら流せ組合 浜崎克彦氏
- (3) 浜の母さんがんばっとるけん
丸亀市漁業協同組合 西川清子氏
- (4) 香川発全国 牡蠣販売への挑戦
鴨庄漁業協同組合 松本繁勝氏

審査の結果、県知事賞には、女木さわら流せ組合の浜崎克彦氏が選ばれた。また、信漁連会長賞は丸亀市漁業協同組合の西川清子氏、漁連会長賞は鴨庄漁業協同組合の松本繁勝氏、水産振興協会会長賞は吉川水産の吉川龍仁氏・松葉鉄也氏がそれぞれ受賞した。県知事賞と信漁連会長賞を受賞した浜崎氏と西川氏は、来年3月に東京で開催される「全国青年・女性漁業者交流大会」に県代表として出場する。

県知事賞に輝いた浜崎克彦氏の発表内容は、サワラ資源の状況が非常に悪い中で、栽培漁業を推進するため、受精卵の確保や種苗放流、放流の効果調査に協力するとともに、受精卵放流や中間育成に取り組み、サワラ資源回復を目指そうという努力をアピールして、本格的な瀬戸内海のサワラの資源回復に

向けては「他府県の漁業者との連携が不可欠」と活動の広がり期待を寄せた。

また、信漁連会長賞に輝いた西川清子氏の発表内容は、地域社会を活性化し、地域のつながりを強くすること、魚のおいしさと栄養価でも優れた食品であることをPRして魚食普及に努めることを重点目標に取り組んでいる活動内容が評価された。



県知事賞を受賞する浜崎氏

「認定漁協」誕生!!

平成14年9月24日(火)14時から、漁連会館5階中会議室において、「平成14年度第1回香川県漁協経営強化総合対策協議会」が開催され、引田漁協と庵治漁協が晴れて「認定漁協」となった。今回の協議会は、新委員による初めての会合であり、県からは玉地農林水産部長、打越次長ほか担当者、県漁連、信漁連、共水連、漁船保険等関係団体の担当者30名が出席した。

玉地部長と田村協議会長の挨拶の後、協議会の新しい会長に服部県漁連会長が選任され議事が進められた。

まず、漁協合併等の推進状況、平成14年度合併推進関連事業、について報告がなされた後、協議事項に移り、県から、引田漁協と庵治漁協を「認定漁協」とする、「漁協の組織・事業基盤に関する計画の認定について」の諮問があった。そして協議の結果、採決により満場一致で「適当である」旨の答申がなされた。

「認定漁協」制度は、資源管理、担い手育成など、公益的な課題を担うに足る基盤を備えた漁協を明確化し、今後各種補助事業を優先採択して重点的に育

成していく平成 13 年度からの国の新たな制度であり、県が平成 14 年 4 月 5 日に制定した「漁協認定基本方針」に規定する認定基準、指導事業専任職員 1 名以上、組合の地区が市町単位以上、販売事業取扱高 20 億円以上、資源管理の指導事業を実施又は具体的計画がある、の 4 つの要件を備えた漁協がその資格を有するものである。

9 月 20 日現在、沿海出資漁協を抱える全国 40 都道府県のうち、「認定基本方針」を 31 道府県が策定し、うち 17 道府県で合計 39 漁協のみが「認定漁協」となっている。

認定証の交付は平成 14 年 10 月 1 日(火) 13 時から、香川県庁農林水産部長室で行われ、玉地部長より服部引田漁協長、嶋野庵治漁協長に直接手渡されて、同日付で晴れて「認定漁協」となった。

両漁協の今後益々のご発展を祈念します。
(組織強化推進室)

香川県漁協経営強化総合対策協議会の新委員

| 所属区分 | 所属機関 |
|---------|--------------------------------|
| 漁協役職員 | 土庄中央漁業協同組合 代表理事組合長 柳生 忠 |
| | 高松市瀬戸内漁業協同組合 共済主任 山本 洋子 |
| 市町長又は職員 | さぬき市 市長 赤澤 申也 |
| | 多度津町 町長 小國 宏 |
| 系統機関 | 香川県漁業協同組合連合会 代表理事会長 服部 郁弘 |
| | 香川県信用漁業協同組合連合会 代表理事会長 田村 敦市 |
| | 香川県漁協婦人部連合会 副会長 白井エイ子 |
| | 香川県漁業信用基金協会 専務理事 尾藤 一夫 |
| 学識経験 | 農林中央金庫高松支店 支店長 増森 均 |
| | 香川海区漁業調整委員会 委員 岡田 和子 |



玉地部長より両漁協長に認定証を交付

郷土の味、家庭でどうぞ!

瀬戸内の海の幸をふんだんに使った讃岐の郷土料理を広く普及しようと、県水産課と(社)香川県水産振興協会は 12 日、県漁連漁業研修センターで「香川の観光ふるさと・さかな料理」講習会を開催した。

メニューは、県魚のハマチを使った「瀬戸のハマちゃん焼き」や、ほうろくで魚介類などを蒸し焼きにする「まんでがん焼き」など 5 種類、参加した主婦らは家庭料理のレパートリーに加えようと、真剣な表情で取り組んでいた。



料理に取り組む参加者

この魚料理を讃岐うどんに並ぶ知名度の高い名物料理にしていくのが講習会の目的。講習会では、県、県漁連などが平成 12 年 11 月に「香川の観光ふるさと・さかな料理」に指定し、観光客向けに県下の料亭やホテルの料理店などで推奨している料理を一般家庭でも普及させ、県内水産物の消費拡大を図ろうと NHK 高松放送局の協力で、募集した主婦ら約 50 人を対象に紹介した。

県調理師会から招いた講師の説明を受けた後、ハマチをオリーブオイルで炒め、レタス、金時ニンジンと和える「瀬戸のハマちゃん焼き」や、素焼きしたサワラや車エビなどを塩と松葉を敷いたほうろくの中で蒸す「まんでがん焼き」、タコツボを形どった釜で炊く「たこつぼたこ飯」、伝統的な讃岐の押し寿司に工夫を凝らした「竹押し寿司」等に挑戦。試食では「おいしい」「上出来」との声が上がった。試食の後のアンケート調査では、一番おいしいと感じた料理は「たこつぼたこ飯」、観光客におすすめの料理「たこつぼたこ飯」「瀬戸のハマちゃん焼き」、家庭の皆様で食べたい料理「たこつぼたこ飯」「香季揚げ」などと答えていた。

また、講習会については、各テーブル毎に、講師が 1 人づつ付き、懇切丁寧に指導してくれたので、わかりやすかった。専門家のチョットしたアドバイスが今まで失敗を繰り返していた手順に気づいて良

かった。とか、これで自信がついた、ぜひ家庭でも「香川の観光ふるさと・さかな料理」に挑戦したい。無料でなく、有料で良いから年に何回か講習会を開催して欲しいなどと感想が寄せられており、盛会な講習会であった。今後の水産物の消費拡大に期待したい。

かがわ地産地消運動推進大会
「食と健康を考えるシンポジウム」

地域でとれた農林水産物を地域で消費する「地産地消」を進めるため、「食と健康」をテーマに、基調講演やパネルディスカッションなどを開催します。

日時

平成 14 年 10 月 4 日 (金) 午後 1 時 ~ 4 時半まで

場所

香川県県民ホール アクトホール (定員 807 名)

内容

- ・基調講演
田中平三 (たなかへいぞう) 氏
(国立健康・栄養研究所理事長 医学博士)
演 題「栄養・食生活と生活習慣病」
- ・パネルディスカッション
テーマ 「みんなで地産地消を考えよう！」
- ・地産地消関連コンクール表彰式
- ・旬の農林水産物などが当たる抽選会
- ・農林水産物の消費拡大等パネル、実物展示 (アクトホールの隣ホワイエにて)

入場料

無 料

皆さんの参加をお待ちしています。

問い合わせ先
香川県農林水産企画課 企画グループ
(087)832-3396

平成14年度全国資源管理推進会議

毎年各地で開催されている全国資源管理推進会議が今年度は10月8日、9日に高松市県民ホール(アクトホール)で開催されることになりました。

香川県では、これまでに小型底びき網漁業を始め、様々な漁法で資源管理型漁業を全国に先駆けて推進してきました。最近では香川県から始まったサワラの資源管理が瀬戸内海全域に拡大し、国の資源回復

計画に結びつくなど、全国から注目される中での開催となります。

香川県からは『さわら流しさし網協議会』の森朝征会長が「香川県におけるサワラ資源回復の取り組み」について講演を行う予定となっています。

その他には水産工学研究所による「選択的漁具・漁法」や福井県での「底曳網における選択的漁具開発試験」などの講演が行われますので、時間の空いている時で結構ですので、是非ともご出席ください。

(香川県農林水産部水産課 漁業 資源管理グループ 牧野 功 靖)

日 時：10月8日(火) 13:30 ~ 17:00
9日(水) 9:30 ~ 15:00

場 所：香川県県民ホール北館アクトホール

住 所：〒760-0030 香川県高松市玉藻町9-10

T E L : 087-823-3131 F A X : 087-823-3124

プログラム

| | |
|-------------------|---------------|
| (第1日目：10月8日) | 13:30 ~ 17:00 |
| 開 会 | 13:30 |
| 挨 拶 | |
| パネルディスカッション | 13:40 ~ 17:00 |
| テーマ：資源回復計画の策定と実施 | |
| (第2日目：10月9日) | 9:30 ~ 15:00 |
| 講 演 | |
| (1)テーマ：漁場環境保全について | 9:30 |
| (2)テーマ：資源管理と漁具漁法 | 13:00 |
| 全体的な質疑応答 | 14:40 |
| 閉 会 | 15:00 |

主な行事予定 (10/1 ~ 10/31)

- 10月 1日(火) 備讃瀬戸海上安全調査委員会
- 10月 2日(水) 棚卸監査
- 10月 3日(木) サワラ関係組合担当者会
- 10月 4日(金) 香川地産地消運動推進会議
- 10月 4日(金) 食と健康を考えるシンポジウム
- 10月 9日(水) 漁協婦人部リーダー事務局担当者合同研修会
- 10月 21日(月) 香川県基本対策審議会
- 10月 24日(木) 港湾整備計画等策定調査検討委員会